

## 令和8年度舞台芸術等総合支援事業(学校巡回公演)出演希望調書(共通)

別添

なし

応募概要	分野	演劇	種目	演劇
	応募区分	一般区分		
	複数応募の有無	有	応募総企画数	2企画
	複数の企画が採択された場合の実施体制 ※	複数の企画を実施可能		

※ 複数応募の有無で【無】を選択された場合は、未記入で構いません(グレーアウトされます)。

文化芸術団体の概要	ふりがな	らすとらーだかんぱにーゆうげんがいしゃ		
	制作団体名	ラストラダカンパニー有限公司		
	代表者職・氏名	代表取締役・兵藤禎晃		団体ウェブサイトURL
				https://www.lastradacompany.net/
	制作団体所在地	〒	453-0838	最寄駅(バス停)
				バス停向島町五丁目
	愛知県名古屋市中村区向島町3-14 シャルム晴201			
	制作団体と公演団体が同一である場合はこちらにチェック	<input checked="" type="checkbox"/> ※チェックをつけた場合、下記公演団体の情報は記載不要です		
	ふりがな			
	公演団体名			
	代表者職・氏名			団体ウェブサイトURL
	公演団体所在地	〒		最寄駅(バス停)
	制作団体 設立年月	平成16年12月		
	制作団体組織	役職員	団体構成員及び加入条件等	
		代表取締役・兵藤禎晃 取締役・兵藤愛子	役員2名(常勤) 事務員1名 演技部5名 創造部5名 【加入条件】団体理念に賛同し、審査に合格すること。	
	事務体制 事務(制作)専任担当の有無	他の業務と兼任の担当者を置く	本事業担当者名	兵藤禎晃・林みどり
	経理処理等の 監査担当の有無	有	経理担当者	兵藤愛子
	本応募にかかる連絡先	メールアドレス		電話番号
		<a href="mailto:lastrada.clown@gmail.com">lastrada.clown@gmail.com</a>		05068728646

制作団体の実績	制作団体沿革・主な受賞歴	<p>【ラストラダカンパニー有限公司】</p> <p>平成16年 兵藤洋子が前進となる有限会社プリマヴェーラを創立。</p> <p>平成30年 国内外のサーカス等で経験を積んだ道化師芸歴22年の兵藤禎晃と兵藤愛子が入社。</p> <p>平成30年 代表取締役、取締役役に就任し、舞台芸術部門 劇団「ラストラダカンパニー」を設立。</p> <p>令和2年 国際児童青少年舞台芸術協会assitej世界大会において『サーカスの灯』が、国内5作品に選出。</p> <p>令和3年 「子供のための文化芸術鑑賞・体験支援事業」において『サーカスの灯』が、プログラム選択型に選定、上演。</p> <p>令和4年 『らふいゆれふいゆ』が国際芸術祭「あいち2022」で上演。</p> <p>「子供のための文化芸術鑑賞・体験再興事業」において『サーカスの灯』が、プログラム選択型に選定、上演。</p> <p>令和5年 社名を「ラストラダカンパニー有限公司」に変更し、舞台芸術活動に専従。</p> <p>【主な受賞歴】</p> <p>令和3年 Changが名古屋市文化振興事業団より、《第37回芸術創造賞》受賞。</p> <p>令和5年 LONTOが、《愛知県芸術文化選奨》受賞。</p> <p>平成30年 『コメディ・クラウン・サーカス』《児童福祉文化賞》受賞。</p> <p>令和5年 『らふいゆれふいゆ』《児童福祉文化賞推薦作品》受賞。</p> <p>『サーカスの灯』『らふいゆれふいゆ』『らぐずたいむ』が《児童福祉文化財》に推薦されている。</p>	
	学校等における公演実績	<p>道化師として活動を始めた平成8年から小学校や中学校、高校、専門学校、養護学校、聾学校、特別支援学校のほか、海外の各種学校での公演やパフォーマンス指導の経験も豊富。</p> <p>平成30年から学校公演実績 累計 約170公演</p> <p>令和7年度 北区子どもたちの夢づくり事業(芸術鑑賞《さまざまな芸術の鑑賞》)に「らふいゆれふいゆ」が採択され、大阪市内小学校16公演を巡演。</p> <p>(直近)</p> <p>令和5年度 累計 94公演(サーカスの灯、らぐずたいむ、らふいゆれふいゆ、その他)</p> <p>令和6年度 累計 87公演(サーカスの灯、らぐずたいむ、らふいゆれふいゆ、その他)</p> <p>令和7年度 累計 90公演(サーカスの灯、らぐずたいむ、らふいゆれふいゆ、その他)</p>	
	特別支援学校等における公演実績	<p>・平成 29 年度「コミュニケーションワークショップ」鹿児島聾学校(文化芸術による子供の育成事業事業)</p> <p>・平成30年 「コメディ・クラウン・サーカス」京都市中丹支援学校、愛知県立佐織特別支援学校</p> <p>・令和3年 「サーカスの灯」京都市立北総合支援学校(支援事業プログラム選択型)</p> <p>・令和4年 「サーカスの灯」京都府立聾学校</p> <p>・令和5年 「サーカスの灯」京都聾学校舞鶴分校</p> <p>・令和7年 「らふいゆれふいゆ」広島県立尾道特別支援学校</p>	

参考資料	申請する演目のWEB公開資料	有	
	※公開資料有の場合URL	https://www.youtube.com/watch?v=Y1wLfczaxCY	
	※閲覧に権限が必要な場合のID及びパスワード	ID:	なし
		PW:	なし

別添

なし

【公演団体名      ラストラダカンパニー有限公司社      】

対象

小学生(低学年)

○

小学生(中学年)

○

小学生(高学年)

○

中学生

○

企画名

それぞれの個性を見つけ尊重しよう 音楽劇「らふいゆれふいゆ」

企画のねらい

考え方も生き方も全く違う音楽家と道化師たちが偶然同じ場所に集い、価値観の違いに悩まされながら、作曲の苦悩、試行錯誤、様々な葛藤の末、新たな曲が創作されます。舞台上に敷き詰められた色も形も違うたくさんの落ち葉を、自分の人生を自分色に染め抜いた多様な個性と重ね合わせながら、**他者との違いを否定的に捉えず、「一人一人が大切な存在である」**ことを伝えま  
す。  
ノンバーバル(非言語)・音楽・美術・身体表現にこだわった「らふいゆれふいゆ」を観て、児童・生徒は自ら出演者の心情やドラマを読み取り、頭の中で言語化して、自分だけの物語を完成させます。それはそれぞれの発達段階に応じた情報理解力や子どもたちがこれから自分の人生を切り開いていくために求められる思考力・判断力・表現力を育みます。また、音楽への関心、作曲の面白さ、身体的表現の可能性、自己肯定感の向上等の教育的効果も期待でき、日々の生活や授業に直結する体験活動になります。自分の夢や可能性を信じて努力できる、また、多様な価値観を受け入れ、友達の夢や可能性も応援できる学校生活に寄与します。

演目概要・演目選択理由

【あらすじ】  
落ち葉が舞い散る頃、楽譜を持った1人の音楽家が悩みながらやってきた。そこに現れたのは旅芸人の気ままな道化師2人組。両者が出会い、考え方も表現も違う者同士が少しづつ距離を縮めていき、曲を完成させてゆく。数々の楽器の生演奏とパントマイムと身体表現で構成された落ち葉の中で繰り広げられる楽しくも美しいノンバーバル舞台です。

【体育館ならではの総合舞台芸術】  
子どもの頃に体験したこと、感動したこと、驚いたこと、それらは大人になってからも根強く記憶の中に刻まれ、現在の生活や職業に影響されています。私自身も小学校で見た芸術鑑賞会での感動が忘れられず、上演を続けています。いつも使っている体育館が今日だけは、初めて足を踏み入れる非日常的な舞台空間になっています。目の前に広がるのは、まるで別の世界に紛れ込んだかのように落ち葉が敷き詰められ、あかりの灯った舞台。BGMに誘われ、舞台の世界へ引き込みます。  
本演目は舞台大道具、音楽、身体表現、照明効果、衣装、コメディ、演出等、専門性の高いアーティストが監修し、すべての機材を持ち込み、常に高いクオリティを保ったこだわりの舞台空間を創出しており、観客席も巻き込みながらダイナミックな演出で子ども達を飽きさせません。  
それに加え、本事業の特色である「事前のワークショップ体験」を経て、「児童・生徒の共演」も加わり、会場の一体感がさらに高まります。いつものクラスメイトの違う一面が見れたり、間近で繰り広げられる大迫力の演技や演奏に、子ども達の心は随時揺さぶられます。豊かな感性を育み、芸術鑑賞能力を高め、今後の生きる道標になればと願うとともに、将来の舞台芸術鑑賞者の育成や後継者育成にもつながっていくことも期待しています。

【遊びと創造】(※劇評から抜粋)  
「本作品では、道化師と音楽家がさまざまな「遊び」の要素を取り入れたやり取りをしながら親しくなっていくプロセスが描かれています。作曲することの苦悩が描かれ、その苦悩から逃げずに、他者と関わりながら試行錯誤と葛藤の末、新たな曲を創作できた、という達成感が表現されています。まさに、芸術や科学などすべての創造過程に共通することです。観客は、大笑いしながら、深く豊かなテーマである「遊び」と創造性、他者とのコミュニケーション、苦悩と葛藤を通した達成感などを面白がったり、大笑いしながら、心身に染み込ませていきます。  
曲の創造過程では、子どもの「遊び」の要素をふんだんに使い、創造の源泉が「遊び」であることを示しています。この「遊び」は、1人ではなくグループで、他者と一緒に「遊ぶ」ことを通して、人はさまざまな体験をして、さまざまなアイデアを得て、楽しさを共有でき、新たな創造を生み出すことができることが表現されています。」と高い評価を受けています。

【評価された作品】  
本演目は、こども家庭庁《児童福祉文化賞推薦作品》受賞、中国児童芸術学院「中国児童演劇フェスティバル」作品、国際芸術祭「あいち2022」舞台芸術作品にも選ばれ、優れた芸術性と教育的効果の高さが認められました。令和5年度「学校巡回公演事業」フィードバックシートでは、「迅速かつ丁寧、臨機応変な実施体制」、「質の高いワークショップ内容」、「芸術性の高い本公演」と高評価をいただいており、本企画がより効果的な芸術体験となり、教科横断的な学びの機会となるよう、再構築、再演出をした結果、吹奏楽部の児童から「言葉を使わない表現と楽器演奏の類似点、またどんなふうに工夫しそれらを表現したら良いのか理解できた」との感想もいただきました。

児童・生徒の参加または体験の形態

★《旅芸人に扮して共演》冒頭、道化師の登場と合わせて、10名程の児童・生徒が事前ワークショップで2グループにわかれて創作したパントマイムを、道化師と共に衣装をつけて共演します。個性溢れる共演ショーで観客を惹きつけます。  
★《全員参加》中盤、急遽道化師が提案する指遊びに客席全体の全校児童・生徒が挑戦！ 終盤、客席に逃げ込んだ道化師とそれを追う音楽家が客席全体を巻き込み、楽しく盛り上がり一体感のあるクライマックスに向かいます。  
★《交流タイム》終演後、出演者が交流しながら児童・生徒全員を見送ります。ご希望により質疑応答やクイズを交えての舞台美術、照明システム、音楽制作等を紹介することができます。バックステージツアー、バラン搬出体験、交流会も可能です。

本公演・ワークショップの内容

児童・生徒の参加可能人数	本公演			参加・体験人数目安		10名前後	
				鑑賞人数目安		350名	
本公演演目 原作/作曲 脚本 演出/振付	演目:「らふいゆれふいゆ」 演出・美術:LONTO 音楽:シモシュ 照明:御原祥子 衣装協力:木場絵里香 《演奏指導》Violin:まどかまるこ Flute:RIMAKO 《TAP指導》村田正樹						
	公演時間		70	分			
出演者	出演者 音楽家:シモシュ 旅芸人の道化師:Chang(チャン) 旅芸人の道化師:LONTO(ロント) 計 3名						
演目の芸術上の中核となる者(メインキャスト、メインスタッフ、指揮者、芸術監督等)の個人略歴 ※3名程度 ※3行程度/名	★音楽監督・作曲・出演:シモシュ 作曲家、ピアニスト。1990年から音楽活動を開始。松平健など数多くのシンガーのサポート演奏でも活躍。2015年モンゴルのウランバートル、ドラマ劇場にて日本人初のピアノコンサートを開催。最近ではコンサート演出やCDプロデュースなどでも活躍。 ★出演・ワークショップ講師:Chang(チャン) 道化師。1996年からパフォーマンス活動を開始。国内外で道化を学ぶ。モンゴル国立サーカス短期留学。アメリカの道化師世界大会団体部門金賞。モンゴル国際マイムフェスティバル銀賞。名古屋市芸術創造賞受賞。ラスベガス、ニューヨーク、モンゴル、イギリス、イタリア、中国、韓国等のサーカスやフェスティバルに出演など海外でも活躍。 ★演出・舞台美術・出演・ワークショップ講師:LONTO(ロント) 道化師、演出家。1999年からパフォーマンス活動を開始。国内外で道化を学ぶ。アメリカの道化師世界大会団体部門、個人部門共に金賞。モンゴル国際マイムフェスティバル銀賞。愛知県芸術創造賞受賞。ラスベガス、ニューヨーク、モンゴル、イギリス、イタリア、中国、韓国等のサーカスやフェスティバルに出演など海外でも活躍。						
本公演 従事予定者数 (1公演あたり) ※ドライバー等 訪問する業者人数含む	出演者: 3 名 スタッフ: 4 名 合 計: 7 名			運搬		積載量: 1 t 車 長: 5 m 台 数: 2 台	
本公演 会場設営の所要 時間 (タイムスケジュール)の目安	前日仕込		無		前日仕込所要時間		時間程度
	到着	仕込		上演	内休憩	撤去	退出
	9時	9時～12時(共演児童リハーサル11時以降45分程度)		13時～14時10分	0分	14時30分～16時	16時30分
	※本公演時間の目安は、概ね2時限分程度です。						
本公演 実施可能日数 目安  ※実施可能時期については、採択決定後に再度確認します(大幅な変更は認められません)。	6月		7月		8月		9月
	5日		0日		0日		0日
	10月		11月		12月		1月
	8日		5日		12日		15日
	※平日の実施可能日数目安をご記載ください。				計		45日





#### ←舞台と客席の仕込みの様子

体育館のステージは使用しません。  
体育館のフロアに舞台を設置します。  
舞台設置に必要な面積約14m×8m

#### ↓冒頭のシーン

旅芸人に扮した児童がバントマイムを披露、  
創作の演技や道化師とのやりとりに会場は  
盛り上がり、観客を舞台の世界に引き込み  
ます。

↓作曲に悩む音楽家が迷い込んできました。



↓中盤、客席とのやりとり



ピアノから人が出  
てきたり、不思議  
がたくさん！→



↓曲の完成！



↑三人での演奏会のフィナーレは、  
客席の中にも！  
←間近で生の楽器演奏を聴けます。

公演に係るビジュ  
アルイメージ  
(舞台の規模や演出  
がわかる写真)

※会場条件につ  
いて最低限必要  
な条件がある場  
合には、様式  
No.4内「会場簡  
易図面」を記載し  
てください。

著作権、上演権等 の許諾状況	各種上演権、使用権等の許諾手続の要 否		該当なし	該当コンテンツ名	
	該当事項がある 場合	権利者名		許諾確認状況	

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

別添

あり

【公演団体名 ラストラーダカンパニー有限公司社 】

ワークショップの  
ねらい

★本公演鑑賞が楽しみになり、より豊かな体験に  
「言葉のない舞台って?」「道化師と音楽家の演劇?」と疑問や不安もあるかもしれません。  
道化師の歴史や考え方、音楽家との合作のプロセス、作品に込めた思い、見どころをわかりやすく簡潔に  
お話しすることで、本公演をより深く理解し、多彩な感性の集合体である総合芸術としての舞台を主体的  
に享受でき、芸術鑑賞能力の向上を図ります。  
演出・美術・構成・出演等、制作に携わったアーティストがワークショップを実施し、子どもたちが直接アー  
ティストと触れ合える機会を大切にしています。

★表現する不安を払拭し、身体表現の楽しさを発見  
【伝える力】  
日本人は感情表現などのリアクションを外に出すことが苦手だと言われています。もちろん、笑う、拍手を  
する、返事をする、驚く、声を掛ける…などリアクションにも様々なものがあります。ワークショップでは感じ  
たことを外に出す、ということにも注目していきます。  
ワークショップの刺激を受け、終了後もやってみたい、上手になりたい、家族、友だちに見せたい、という  
ように感動が持続していくよう心がけています。

★言葉だけに頼らないコミュニケーション能力の向上  
【言語と非言語のズレ】  
物事を伝える上での言語は必要不可欠ではありますが、言語以外の情報を得る事も実に重要です。言  
語と非言語が一致していないことで、相手を混乱させることになります。どのように伝わるのか、どこを受け  
取るのか、にも意識していきます。  
【見る力】【読み取る力】  
携帯やタブレットを見ることの多い中、外を向き周りを観ることも大切です。誰かが何かを伝えようとしてい  
ても、下を見ていたら気づくことができません。パントマイムを通して表情や身体表現から、まずは相手を  
観察し、どんな所に読み取るヒントが隠されているかなどについても考えます。

★個性を再発見し、創作する達成感を味わおう  
【個々の力】  
パントマイムの技術を学ぶのと同時に表現も学びます。それは正解も不正解もない自分ならではの表現  
を見つけるということ。技術自体は皆同じことを学んでも表現は人それぞれ違い、自分自身が何を感じる  
のかの気づきに触れていきます。  
自分の表現により伝えた相手はどのような反応をするのか、また見る側、伝えられる側はどのように受けと  
ると良いのかなど発信側、受信側ともに体験し考えていきます。  
ワークショップを通し、個々の表現を伸ばすとともに、子ども達同士もそれぞれの表現を楽しみ、興味を  
持ってもらうことも目的の一つです。  
【創造性】  
個性を活かした表現、各自で考えたストーリーなどアイディアを出し合いながら創作を進め、最後には発  
表します。  
「創る楽しさ」「観る楽しさ」「表現する楽しさ」を体感することにより子ども達の創造性、コミュニケーション能  
力を引き出します。

ワークショップの内容	児童・生徒の参加可能人数	ワークショップ	参加人数目安	第一部:全校児童・生徒 第二部:10名前後(共演)
	ワークショップ 実施形態及び内容	<p>所要時間 全90～100分程度(2校時)を第一部、第二部に分けて行います。</p> <p>【第一部】(全校児童・生徒対象) まずは講師の自己紹介を行います。パフォーマンスを交え、コミュニケーションを取りながら、子どもたちとの信頼関係を築いていきます。 [表現力・身体表現指導] &lt;25分&gt; ①アイスブレーキング 音楽を使いながらウォーミングアップ、リズムゲーム、コミュニケーションゲームなどで子どもたちの緊張感をほぐし、講師との距離を縮め、心を解放していきます。使用する音楽は舞台が楽しみになるよう、劇中曲を使用します。 ②デモンストレーション パントマイムの実演を鑑賞することで、今から自分で挑戦する期待感を刺激します。「喋っていないのに頭の中でセリフが聞こえてくる」なんて感じたり、言葉なくコミュニケーションが取れる面白さを体験します。 ③テクニク指導 短時間でも繰り返し練習することで、技術が向上し、できる楽しさを実感できるよう工夫して指導しています。また、パントマイムの技術指導だけでなく、実際にはないものは想像して、表現したり、リアクションするなどの感情表現、観客への伝え方、見せ方など、演劇的な指導も行います。 [鑑賞指導] &lt;15分&gt; 子どもたちは、本公演のような言葉のない舞台を見る機会は少ないと思いますので、作品創作の想いや見どころ、なぜ言葉の表現を選ばなかったか等こだわりとその魅力を伝えます。 道化師やパントマイムが発展していった歴史的背景(言論の自由等)をわかりやすく紹介します。 失敗や辛いこと、コンプレックスも笑いに変えて、みんなを笑顔にする道化師ならではの考え方は自己肯定感を高めます。 まとめ&lt;5分&gt; ワークショップの振り返りを行い、感想、質疑応答をし、丁寧にまとめます。</p> <p>《休憩》</p> <p>【第二部】(共演児童・生徒対象) [共演練習] コミュニケーションゲーム&lt;10分&gt; 歩きゲームやアイコンタクトゲームを通して、講師である出演者と共演する児童・生徒とも信頼関係を築き、意思疎通をスムーズにしていきます。舞台上では出演者と観客、出演者同士でも、コミュニケーションをとったり、空間や状況を把握しながら演技をしています。 作品作り&lt;20分&gt; 第一部で学んだ技術を復習しながら、2グループに分かれ、共演のシーン出演者と作っていきます。児童・生徒のそれぞれ持つ個性を活かし、魅力を引き出す演出をし、何度もシーンを繰り返すうちに子どもたちからも自発的にアイデアが出るよう、肯定的かつ協力して創作していきます。 ミニ発表会(10分) お互いのシーンを観せ合います。うまくできたか、間違えなかったかよりも、仲間と一緒に演じる楽しさや笑ってもらえる喜び、シーンが完成した達成感を大切にしています。演じる側も、見る側も想像力と思いやりを持って、笑ったり、応援したり、心配したり、感動する、感じたことを素直に表現する喜びを感じてもらいたいと思います。 ⑦まとめ&lt;5分&gt; ワークショップの振り返りを行い、感想、質疑応答をし、丁寧にまとめます。</p> <p>(別添1参照)</p>		
ワークショップの内容	その他ワークショップに関する特記事項等	<p>衣装や小道具等はすべて劇団で準備していますのでご安心ください。 学校の要望にも柔軟に対応し、児童・生徒のやってみたいことなど、声を聞き、より興味を持って参加できるような体験機会を創出します。</p>		

※A4判3枚以内に収まるように作成してください。

一般区分・特別エリア区分共通  
No.4(共通)

別添	なし
----	----

【公演団体名      ラストラーダカンパニー有限公司      】

記載方法等

例年、実施校の状況等により公演実施要件を満たさないことに起因するトラブルが一定数生じています。※以下は、過去実際にあった例です。  
・会場が狭く、予定していた規模の公演が実施できなかった。  
・搬入車両が構内に入らず、搬入のための追加費用が生じてしまった。  
・児童・生徒が時間外の練習を行うことができず、児童・生徒の体験の範囲が限定的なものとなってしまった。  
上記のように、公演実施要件を満たさない学校とのミスマッチングを防ぐため、公演実施に際して必要な条件を御記載ください。  
任意項目については、学校に伝えるべき条件がない場合には記載不要です。  
詳細な実施条件は、実施校との調整段階にて直接確認をいただくことになります。  
なお、特段条件を必要としない項目や未定の項目については「条件なし」を選択、または記入してください。

会場条件

(必須)	公演実施にあたり、必要な会場条件を記載してください。				
会場の設置階の制限	条件なし		主幹引き込み電源容量		15 A以上
舞台設置面積	間口	14 m	奥行	8 m	
	高さ	4 m			
舞台設置場所	フロア対応	可	学校のステージでの対応		不可
搬入間口の広さ	幅	1 m	高さ	2 m	
遮光の要否	7割程度必要		緞帳の要否		有無のみ確認したい
ピアノの使用について	使用しない		ピアノを使用する場合の設置位置の指定		なし
			ピアノを使用しない場合の移動の要否		要
搬入車両(トラック等)の横づけ	必須		トラック横づけ不可の場合の搬入対応可能距離		10 m以内
搬入車両の種類	ハイエース		台数	2 台	
搬入車両の大きさ	車幅	2 m	車長	5 m	
備考					

※表から数値を取得しますので、セルの結合や行の挿入・削除は行わないでください(幅や高さの調整は問題ありません)。

学校からの情報

(任意)	学校からの提出を求める資料がある場合のみ記入してください。	
会場図面の提出要否	不要	
その他提出が必要な資料 (搬入間口や搬入経路の写真の提出等)		

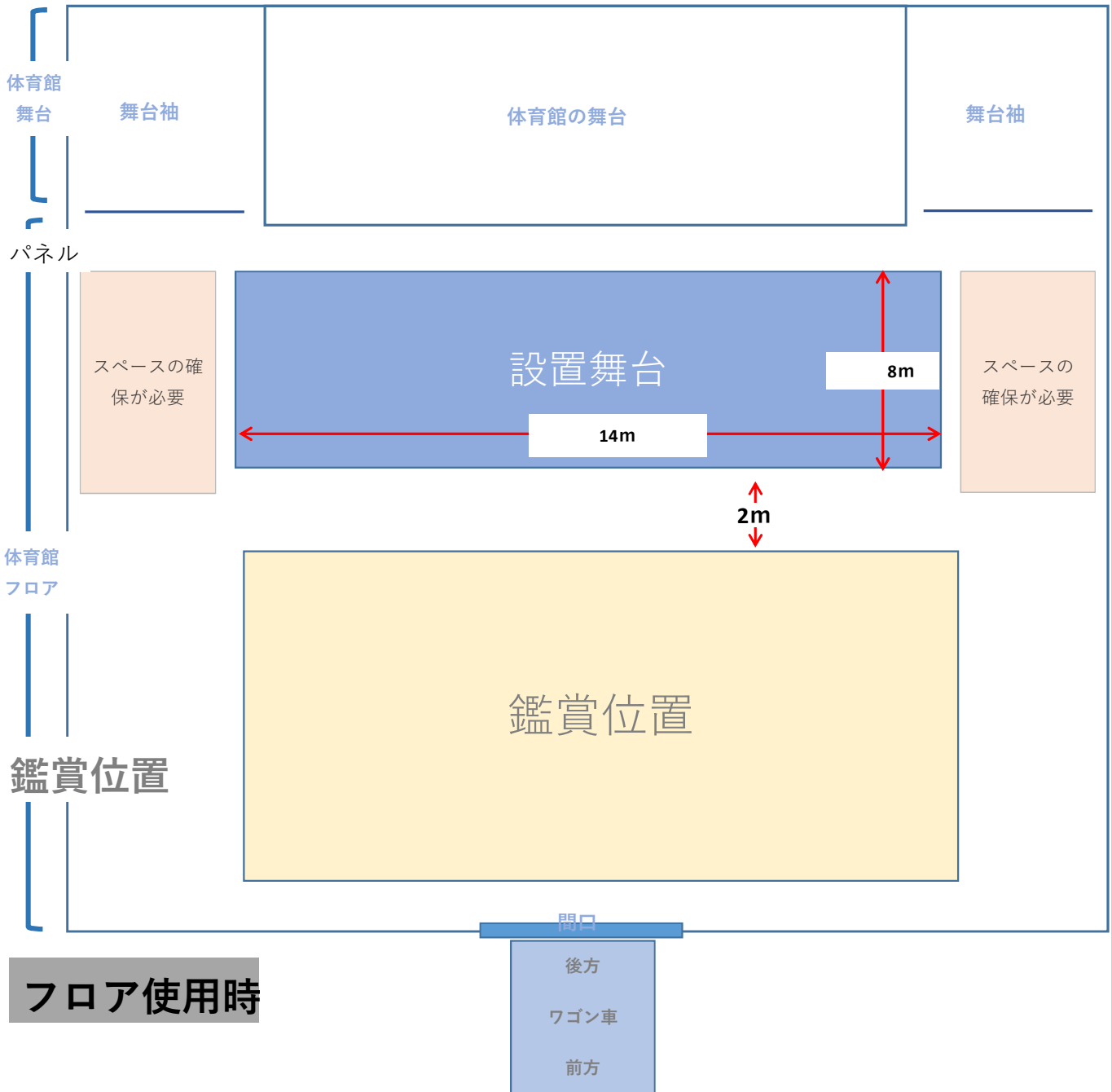


時間外対応	(任意)	万が一、ワークショップや本公演のための児童・生徒の練習や製作物の作成に係る時間が、ワークショップや本公演の時間以外に別途発生する場合には、必要となる練習時間や製作時間等を必ず明示してください。				
	なお、一部の児童・生徒のみが授業を抜けてリハーサル等や練習を行う必要がある場合は、実施校とのトラブルを避ける観点からもその旨を必ず記載してください。					
	※上記の際は、対象となる児童・生徒の保護者の方への事前連絡や御了承を得る必要があるか否か等含め学校と十分に調整をしてください。なお、その際、代表以外の児童・生徒へもご配慮ください。					
		対象	所要時間(分)	時間帯	内容	備考
	ワークショップ					
	ワークショップ					
	本公演	共演、参加又は体験対象となる児童・生徒	45~50分	本公演当日に行います。午後公演の場合、11時前後に開始。	共演者の舞台を使用したりリハーサル。	
	本公演					

個別確認事項	(任意)	上記条件や資料以外に、公演実施に当たって学校へ個別の確認が必要な事項がある場合、記載してください。	
		個別ヒアリング事項	
	1		
	2		
	3		

(任意) 会場条件について最低限必由奈条件がある場合、簡易図面を記載してください。  
※搬入に関する条件の詳細については、上記の会場条件欄にて確認してください。

会場簡易図面



別添

あり

【公演団体名 ラストラダカンパニー有限公司社 】

本事業を通じて実現したいこと、また当該工夫

本事業

## 【本事業を通じて実現したいこと】

私たちは、すべての子ども達が**高い自己肯定感**を持ち、**お互いの個性を尊重し合いながら成長していくこと**を願っています。濃密な芸術体験を有する本事業の特色である「事前ワークショップ体験」「児童・生徒と実演芸術家との共演」による、劇団と学校で創り合う本公演は、唯一無二の特別な公演となり、それを日常的な学校体育館で上演するからこそ、子どもを取り巻く家庭の状況や居住地等に関わらず、等しく質の高い文化芸術に触れることができます。**子どもの権利を保障し、誰一人取り残さず、すべての子どもたちが尊重され自己実現できる社会を目指す**ことは、本作品「らふいゆれふいゆ」のテーマでもあります。

長年に渡り児童青少年演劇に従事してきた道化師達と、奏者であり児童演劇作品の作曲を多数手掛けてきた音楽家が創作し、巡演を続けてきた独創性の高い本作品「らふいゆれふいゆ」は、高い身体表現と演奏の融合、セリフがなくても伝わる心象表現豊かな物語、心揺さぶる迫力ある演技、と国内外で感動と絶賛の声をいただいています。多感な小学生・中学生の年代に文化芸術を身近に感じ、多角的な視点、失敗を恐れず挑戦する心、既存の枠組みにとらわれない自由な発想を育み、創造性の向上が期待でき、**芸術鑑賞能力を高め、将来の舞台芸術鑑賞者の育成や後継者育成にもつながり、文化的な地域格差の解消を目指します。**

## 【上記の実現に向けて、実施の工夫】

世界で活躍するアーティストが事前ワークショップから共演の指導、本公演まで一貫して行います。演出家、出演者でもあるアーティストにワークショップで直接出会い、作品を通して伝えたい想いを聞き、指導を受けることができ、本公演で再会を果たし、同じ舞台で共演します。それはとても刺激的で貴重な体験となります。

講師、指導補助者、スタッフ全てが高い専門性を持ったアーティストや技術者であるとともに、日常的に学校公演に携わり、高い教育的効果が得られるプログラムとなるよう、常に向上心をもって、相互フィードバックや研究会を行い、教育、管理を欠かさず取り組んでいます。

また、豊富な知識と経験を活かし、共演の練習では子ども達の主体性を尊重し、グループ分け、取り組みたい内容、ショーのアイデアを最大限組み込んで進行することで、自己肯定感の向上を図りつつ、その学校だけの特別な公演を創作しています。

この「唯一の公演」では、児童・生徒の発表にすごい、と感嘆の声と笑い声、拍手が溢れ、客席に戻った際にクラスメイトと笑い合う様子が伺えます。共演者だけでなく、鑑賞した児童・生徒、先生方にとっても記憶に残るシーンとなり、感想の中に「クラスメイトのショーも面白かった」、「児童の個性を見抜いて魅力を引き出してくれた」等、学校生活の忘れられない思い出となっていると確信しています。

現在の学校における多国籍による文化の違い、言語の壁、多様化した障がい、社会的格差等、様々な課題を超えて、平等に舞台芸術を鑑賞でき、分け隔てなく楽しめるよう、言葉に頼らず、視覚的にダイレクトに物語を伝え、季節の移り変わりや出演者達の内面や関係性を詩的に表現する作風で、感性や創造性、多様性を尊重した演出をしています。

出演者の苦悩や喜びに共感し、本編で描かれていない過去の出来事に思いを馳せ、一見目的を妨げているように見える他者（道化師）に反感するだけでなく、その相手に成り代わって理解しようとする中で、児童・生徒がそれぞれの成長過程に合わせて、情操、道徳的思考を育み、広い視野や価値観を持ち、コミュニケーション能力を高めることを期待します。

本公演は全ての機材を持ち込み設営するため、ホール公演と遜色のない常に安定した質の高い舞台を創出しています。普段の体育館が本物の劇場空間に早変わり、そんな空間を子ども達は肌で感じ、驚き、感動するでしょう。

そんな作り手の想いと多様な才能や技術が集結した舞台芸術は、アーティストの仕事やかわりに触れる貴重な体験となり、将来の選択肢が広がり、文化芸術に携わる担い手の育成の一助となり、文化的な地域格差の解消にもつながります。

事業を適切かつ 円滑に実施するための 工夫	<b>【学校との連絡調整について】</b>
	<b>【効果的に実施するために】</b> 本事業の趣旨や本企画の魅力、目的に関して、丁寧に確認し合い、ご理解のもと、各校のニーズを踏まえ、学校と協力して進めることで、事業効果が飛躍的に高まります。特にワークショップ【第一部】は基本的には「全校児童生徒の参加」としており、本公演がより深い学びと感動の時間となるため、必要性や魅力を丁寧に説明しています。 本企画のように言葉のない舞台は普段触れる機会が少ないと思いますので、先生方の不安を解消できるよう、ワークショップ、本公演の様子をまとめた資料を配布しています。 資料にはストーリーや演出意図、演者紹介、鑑賞のポイント等がわかりやすく掲載されており、実際公演を観劇された方による感想も多数掲載しています。PV動画は「セリフのない演劇って？」という方にもわかりやすく、本公演のイメージが湧き、楽しみになると好評を得ています。劇団からの一方的な押し付けにならないように注意しつつ、そして本事業を初めて実施される学校も容易に理解していただけるよう、積極的かつ柔軟にアプローチしていきます。
	<b>【円滑に実施するために】</b> 学校との連絡を密に取り、信頼関係を築くことが必要不可欠と考えています。お互いに質問や不安が生じた時、すぐに相談や解決できるよう、丁寧なコミュニケーションを心がけています。 ・書面による「公演確定のご連絡」を送ります。これは本公演日時の伝達だけでなく、本事業の趣旨や目的の確認、特色であるワークショップの必要性や本公演での共演等の説明、今後の流れを記載しています。前後の学校行事、児童・生徒の様子をヒアリングし、できる限り先生方へ負担をかけないよう効率的に進めます。 <b>登下校時刻やスクールバスの運行時刻、授業時間にも配慮し</b> 、できる限り要望に沿って計画を進めます。 ・ワークショップの日程が決まったら、書面で「ワークショップのご案内」を送ります。ワークショップ当日のスケジュールや実施内容、準備物、ワークショップ時の様子をお伝えします。 <b>ワークショップにかかるトラブルを避け、円滑に実施できるとともにクオリティを保つためにも、音響機材や上履き等すべての備品を持参します。</b> ・ワークショップ当日は劇団スタッフが留意しておくことなどを把握するため、担当先生との打ち合わせ時間を設け、実施します。合わせて、専用の「打ち合わせ表」を使用し、下見をしながら、本公演の搬入経路や児童の入退場経路、使用する車両、舞台と客席の設営イメージ、タイムスケジュール、実施にあたっての注意事項等、学校のご要望も確認します。記録撮影に伴うプライバシー保護、有事の際の対応等も記載しています。 (別添②参照)
	<b>【対象児童・生徒に応じた工夫や留意点について】</b> 常に今の児童・生徒が対象者であることを重要視しており、児童育成協会「児童館における児童福祉文化財を活用した遊びのプログラム」にR4,5年の2年間上演劇団として関わり、R5年には専門員にも抜擢され、 <b>現在も日常的に積極的に児童育成に関わっています。</b> 毎年40回以上の外部指導を行う豊かな経験を最大限に生かし、配慮が必要な事項(障がいや特性等)を確認し、先生方の想いに沿って企画を進めます。 <b>初めて出会う人に萎縮しやすい今の子どもたちと信頼関係を築くため</b> にも、訪問時、休憩時間、準備片付けの際には出会う児童・生徒・先生方とは、積極的に交流を図っています。 長年の道化師による高いアドリブ技術により、作品クオリティを変えず、目の前の観客に合わせたバリエーション豊かな表現方法とテンポで、理解や集中の様子を見ながら、巻き込みながら上演することを心がけています。
	<b>【本公演等実施後の児童・生徒への継続的な学びについて】</b> 本事業の特色でもある事前ワークショップ、共演の機会を最大限に活用し、もっとやってみたい！できた喜びを発表したい！と継続的な学びにつながるよう取り組んでいます。 ワークショップでのパントマイム体験は面白さだけでなく、芸の難しさも全校児童生徒で共有することができ、人前で発表する高揚感や緊張を知ることができます。 言葉のない舞台を行う私たちは特に高い専門技術を持ち、表現しているので、観客の集中を集めたり、わぁーと声をあげ盛り上げる、または息を飲んで、展開を期待するなど、観客の心を掴むテクニックを駆使できますが、パントマイムのショーを覚えただけで観客に見てもらうことは本来難しいのです。ですので、鑑賞指導では、一緒に体験した仲間が、今の自分を精一杯発揮する姿を、一生懸命読み取って、応援して、伝えようとしていることを、見つけ出し、感じ取ってください、と指導しています。 これは、今後、さまざまな発表の場がある学校生活において、他者の努力や魅力を積極的に見つけ出すことできる人材に育ち、それは、自分自身の努力も認めることができることにつながります。体験で学び、本公演で実践できることで、子ども自身がその価値に気づくことでしょう。



ワークショップ  
実施形態及び内容

## 【第一部】（全校児童生徒対象）の様子



## アイスブレーキング

音楽を使いながらウォーミングアップ、リズムゲーム、コミュニケーションゲームなどで子どもたちの緊張感をほぐし、講師との距離を縮め、心を解放していきます。



## テクニック指導

短時間でも繰り返し練習することで、技術が向上し、できる楽しさを実感できるよう工夫して指導しています。また、パントマイムの技術指導だけでなく、実際にはないものは想像して、表現したり、リアクションするなど感情表現、観客への伝え方、見せ方など、演劇的な指導も行います。

## 【第二部】（共演児童生徒対象）の様子



## 作品作り

2グループに分かれ、共演のシーンを出演者と作っていきます。児童生徒のそれぞれ持つ個性を活かし、魅力を引き出す演出をし、何度もシーンを繰り返すうちに子どもたちからも自発的にアイディアが出るよう、肯定的かつ協力して創作していきます。



## ミニ発表会

お互いのシーンを観せ合います。うまくできたか、間違えなかったかよりも、仲間と一緒に演じる楽しさや笑ってもらえる喜び、シーンが完成した達成感を大切にしています。



別添 ※別添は1企画当たり3枚までとします。※文字のポイントの変更は認めません。

リンク先	No.5	【公演団体名	ラストラダカンパニー有限公司	】
”事業を適切かつ円滑に実施するための工夫”	【学校との連絡調整について】			
	【効果的に実施するために】 本事業の趣旨や本企画の魅力や目的に関して、丁寧に確認し合い、ご理解のもと、各校のニーズを踏まえ、学校と協力して進めることで、事業効果が飛躍的に高まります。特にワークショップ【第一部】は基本的には「全校児童生徒の参加」としており、本公演がより深い学びと感動の時間となるため、必要性や魅力を丁寧に説明しています。 本企画のように言葉のない舞台は普段触れる機会が少ないと思いますので、先生方の不安を解消できるよう、ワークショップ、本公演の様子をまとめた資料を配布しています。 資料にはストーリーや演出意図、演者紹介、鑑賞のポイント等がわかりやすく掲載されており、実際公演を観劇された方による感想も多数掲載しています。PV動画は「セリフのない演劇って？」という方にもわかりやすく、本公演のイメージが湧き、楽しみになると好評を得ています。劇団からの一方的な押し付けにならないように注意しつつ、そして本事業を初めて実施される学校も容易に理解していただけるよう、積極的かつ柔軟にアプローチしていきます。			
	【円滑に実施するために】 学校との連絡を密に取り、信頼関係を築くことが必要不可欠と考えています。 お互いに質問や不安が生じた時、すぐに相談や解決できるよう、電話やメールで負担のない範囲での丁寧なコミュニケーションを心がけています。			
	・書面による「公演確定のご連絡」を送ります。 これは本公演日時の伝達だけでなく、本事業の趣旨や目的の確認、特色であるワークショップの必要性や本公演での共演等の説明、今後の流れを記載しています。さらに書面や電話、メール等で説明をしながら、ワークショップ日程を進めていきます。 前後の学校行事、児童・生徒の様子をヒアリングし、できる限り先生方へ負担をかけないよう効率的に進めます。登下校時刻やスクールバスの運行時刻、授業時間にも配慮し、できる限り要望に沿って計画を進めます。			
	・ワークショップの日程が決まったら、書面で「ワークショップのご案内」を送ります。 ワークショップ当日のスケジュール(到着時間、当日打ち合わせ、本公演の会場下見、休憩、撤収時間等)や実施内容、準備物、ワークショップ時の様子をお伝えします。 ワークショップにかかるトラブルを避け、円滑に実施できるとともにクオリティを保つためにも、音響機材や上履き等すべての備品を持参します。			
	・ワークショップ当日は劇団スタッフが留意しておくことなどを把握するため、担当先生との打ち合わせ時間を設け、実施します。合わせて、専用の「打ち合わせ表」を使用し、下見をしながら、本公演の搬入経路や児童の入退場経路、使用する車両、舞台と客席の設営イメージ、タイムスケジュール、実施にあたっての注意事項等、学校のご要望も確認します。記録撮影に伴うプライバシー保護、有事の際の対応等も記載しています。			
	・本公演は「打ち合わせ表」を双方確認の上、共演の舞台リハーサルを行なった上で、共演児童・生徒には劇団スタッフが付き、安全かつ円滑に実施します。			
どの段階においても、劇団からの書面による一方的な説明にならないよう、電話での補足説明や訪問直前の連絡を欠かさず行なっています。				